

チャーオ、シーナです。2008年から毎年、FOODEX 会場で行っているお酒に関する調査、今年で6回目です。今年は「黒ラベル」がどのくらい好まれるか、「赤」や「白」はどうなのかなど、色のブランド力に関して、当社のブースに立ち寄られた日本人、外国人に好みを聞いてみました。 Many Shochu brands are sold under the name "Kuro" (means "Black") in Japan. Whisky with "Black" labels are popular in the world. "Kuro" or "Black" may have a common premium image on various alcoholic beverages. We conducted a survey about the preference of color at FOODEX Tokyo 2013. (text = Sienna K. Emiri)

「酒類における色のブランド力調査」

FOODEX JAPAN 2013

A Survey about "COLOR EFFECT" on Japanese alcoholic beverages

色々な酒類（日本製酒類と想定）における色のブランド力を調査するために、ダミーラベルで商品イメージをつくりました。「自分で購入したいもの」あるいは「飲んでみたいもの」を、各酒類5点中で2点を選んでください。

Dummy labeled samples are presented with/without color names or colored bottles. In each category, please select 2 items you want to buy or you best prefer.

Q1 ウイスキー Japanese WHISKY



Q2 焼酎 SHOCHU, Japanese traditional single distilled spirits



こんなパネルで、日本人 108 人、外国人 44 人に好みを聞きました。日本人は「40+ 歳代男性」「40+ 歳代女性」「20-30 歳代男性」「20-30 歳代女性」の4区分、外国人は「欧米系男性」「欧米系女性」「アジア系男性」「アジア系女性」の4区分で集計。当社でデザインしたダミーラベルによる調査です。

Q1: ウイスキー→「黒ラベル」

1位はダントツで「黒ラベル」(79票/271票中)、2位の「黒色びん」(47票/271票中)を大きく引き離しています。そのほかの「蒸留所名」「貯蔵年数」「赤ラベル」「白ラベル」はほぼ拮抗。ウイスキーでは「黒」が強いようです。でも外国人の方は「白ラベル」を選んだ人が多かった。

Q2: 焼酎→「黒色びん」と「るり色びん」

1位が「黒色びん」(68票/274票中)、2位が「るり色びん」(62票/274票中)で接戦。ただ、年代別で見ると結果が明確に分かれています。20-30歳代男性は「赤ラベル」が1位。そういえば、赤の名前がつかない人気焼酎がありますね。40+歳代女性は「黒ラベル」が1位。20-30歳代女性と外国人は「るり色びん」が1位。

Q3: 清酒→「黒色びん」「るり色びん」「原産地ラベル」

同率1位は「黒色びん」と「るり色びん」(各76票/282票中で同数)。女性の人気が高く、40+歳代にも20-30歳

Q3 清酒 SAKÉ

					
赤ラベル Red Label	白ラベル White Label	黒ラベル Black Label	色表現なし (原産地表示の例) No specific color (AOC)	黒色の壺 Black Bbotte	るり色のびん Cobalt Blue Bottle

Q4 ワイン Japanese WINE

					
赤ラベル Red Label	白ラベル White Label	黒ラベル Black Label	色表現なし (原産地表示の例) No specific color (AOC)	色表現なし (「リザーブ」) No specific color (Reserve)	黒色の壺 Black Botte

Q5 ワイン栓 3点選んでください WINE CLOSURE, please let us know 3 of your preference.

					
天然コルク Natural Cork	ノマコルク (合成コルク) NOMACORC	スクリューキャップ StelVin - Screw Cap	ガラス栓・ヴィノロック VINO-LOK Glass Stopper	ゾーク ZORK	小型のスクリューキャップ Short Screw Cap

代にも「黒色びん」と「るり色びん」が好まれました。2位は「原産地ラベル」(62票/282票中)で、日本人男性のほか、外国人の人気が高かったけれど、女性の支持率は少ない傾向。サンプルラベルの出来栄えにもよるのですが、焼酎と違って清酒の「赤ラベル」は不人気でした。

Q4: ワイン→「黒ラベル」と「白ラベル」

1位は「黒ラベル」(74票/238票中)で、40+歳代男性で人気。2位は「白ラベル」(59票/238票中)で、20-30歳代女性が多かった。男女・世代で色の好みが変わります。3位の「原産地呼称」は幅広く支持されています。ワインでは「黒色びん」と「赤ラベル」は人気がありませんでした。ワインは男女間・世代間でバラバラの結果でした。

以上の結果を見ると、やはり「黒、強し」という一般的な傾向がわかります。けれど、酒類のジャンルによって、色の持つ効果や印象は相当な差があるのですね。

Q5: ワイン栓→「天然コルク」

当社はキャップメーカーなので、恒例の調査。今年はワイン栓の好みをたずねました。1位は予想通り「天然コルク」(96票/391票中)。日本人も外国人も天然コルクが一番人気。2位「ガラス栓・Vino-LOK」(94票/391票中)、3位「合成コルク・ノマコルク」(80票/391票中)も高得票です。「ステルヴァン・スクリュウキャップ」は輸入ワインで急速に伸びていますが、4位(64票/391票中)。最下位は「小型のスクリュウキャップ」で、わずか8票でした。



FOODEX2013のきた産業のブース。たくさんの方々に来場いただき、ありがとうございました。